

2020年8月25日

関係各位

株式会社コロワイド

株式会社大戸屋ホールディングスの現状と買付条件の変更について

本日、当社は「株式会社大戸屋ホールディングス株式(証券コード：2705)に対する公開買付けにおける買付期間変更に関するお知らせ」を公表し、買付予定数の下限を当社の既保有分も含めて45%から40%に変更すると共に、買付期間の最終日を本年8月25日(火)より同9月8日(火)まで延長することと致しました。

当社は、以下の背景・理由から本公開買付けを確実に成立させることが極めて重要であると考え、当該措置を講じることとしたものです。

当社は、大戸屋HDの2021年3月期第1四半期決算の内容を受け、大戸屋HD単独での事業継続性に関し重大な懸念を抱いております。

具体的には、新型コロナウイルスによる休業の影響があったとはいえ、第1四半期の3ヶ月間で31億64百万円の売上高に対し、14億44百万円の営業損失及び15億8百万円の親会社帰属純損失を計上し、自己資本は2020年3月末の32億79百万円から15億88百万円に急減(51.57%減)しています。

また、新型コロナウイルスによる売上減少が徐々に回復しつつある本年7月においても、既存店売上高昨対比は、6月から小幅改善に留まる71.4%と、同じく定食事業を主体とする競合2社と比較しても7.9%~10.2%も下回っている現状です。

今後も新型コロナウイルスによる売上高への影響が見込まれる中、前年度の全四半期において最終損失を計上している大戸屋HDの経営成績はかなり悲観的なものと見込まざるを得ず、固定資産における減損損失の追加の発生も考慮した場合、当社は、大戸屋HDの当年度末における財政状態について非常に憂慮しております。

従来、当社は、大戸屋HDの現執行部による継続的な業績悪化と具体的な改善策が提示されていないことを理由として、同社における経営体制刷新の必要性を株主の皆様にご説明してまいりました。

これに対し現執行部は、当社が真摯に提案してきた当社グループとのシナジー効果による事業再建の道筋に関し、株主の皆様にご誤った情報を流布する一方、引き続き業績・財務面での必要かつ合理的な施策を打ち出せずにいることから、この度の買付条件変更を通じて、本公開買付けの成立をより確実なものとし、当社グループとのシナジーも含めた抜本的かつ迅速に事業再建を実施する必要があると考えております。

以上